

Postgres リポジトリ db にログインするのにビジネス ディレクトリによって使用される内部 USERID が v7.0.0 の後で異なっています。

目次

概要

[USERID がなぜ v7.0.0 の後で別の Postgres リポジトリ db にログインするのに BD によって使用されていますか。](#)

概要

この資料はビジネス ディレクトリがバックエンド (metadb) リポジトリにログインするのに使用する内部 USERID を記述したものです。

USERID が v7.0.0 の後で別の Postgres リポジトリ db にログインするのに BD によって使用されている理由

ビジネス ディレクトリ バージョン 7.0.0 の含まれています指名される Postgres USERID が "bd070001" インストールします。

BD のバージョン 7.0.1 または それ 以降は指名された Postgres USERID が含まれているインストールしますか。 bdrepo か。

これはなぜ起こりましたか。

"bd070001" のようなユーザー ID のスタイルは Mysql がリポジトリ プラットフォームとして利用されたときに CIS バージョン 6.2 および それ 以前で必要だった数値的な専門語を含むユーザー ID の作成のレガシー CIS 方法から採用されました。 数値的な形式は倍数が単一のホストで存在されてインストールする場合必要なので私達が USERID を増分することを可能にしました。

ただし、CIS 及び BD v7 は単一のホストでユーザーをインストールする管理する方法によるそのような要件を提起しませんでした。 従って USERID は絶えずある可能性がありますか。 bdrepo か。 BD インストールのため。

これはほとんどの正常なユース ケースのたいして重要ではない問題です。 ただし BD がうまく立ち上がるか、またはインストールし損うときいくつかのエラーメッセージをトラブルシューティング中に USERID に注意することができます。